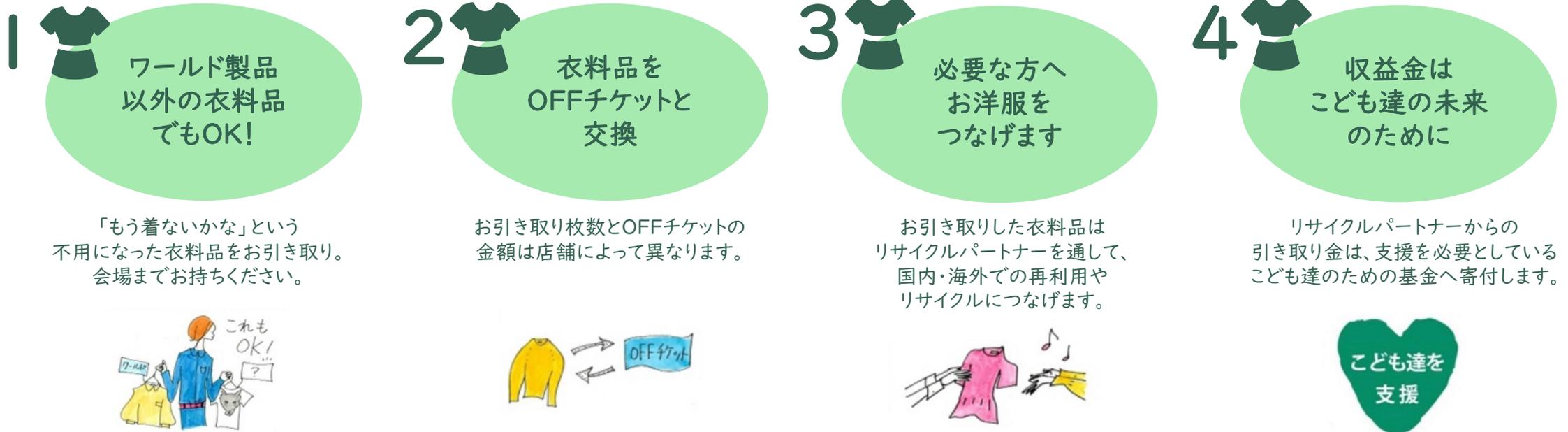


衣料品引き取りリサイクル「ワールド エコロモ キャンペーン」 ～ あなたのお洋服をつぎの役割へとつなぐ架け橋に～

ワールド エコロモ キャンペーンとは 「エコロモ」とは、“エコロジー”と“衣(コロモ)”を掛け合わせたワールド独自の造語です。当社では、“リユース、リサイクルを通じて衣料品の価値を最後まで無駄なく活かすこと”を目的に、2009年秋より、社会貢献活動の一環として、お客様の不要な衣料品をお引き取りする「ワールド エコロモ キャンペーン」を実施しています。

お引き取りした衣料品の流れ

お客様のダンスやクローゼットの奥で眠っていたご不要な衣料品をお引き取りし、リサイクルやリユースを通じて次の役割へとつなげていきます。



〈 寄付先について 〉

福島県 東日本大震災ふくしま子ども寄附金、宮城県 東日本大震災みやぎ子ども育英募金、あしなが育英会、チャイルド・ケモ・サポート基金、日本赤十字社、日本ユニセフ

お引き取りした衣料品の流れ ～リユースと寄付～

リユースを通じて、衣料の価値を最後まで無駄なく活かすこと

2009年からスタートした「ワールド エコロモ キャンペーン」には、環境に対する関心や社会貢献につながる消費の高まりにより、多くのお客様から賛同をいただいております。1,861万点以上をリサイクルしてきました。また、2011年秋冬からは、リサイクルパートナーと連携し、お引き取りした衣料品をリサイクルパートナーへ販売し、衣料品のリユース（再利用）を行うと共に、収益金を支援を必要としている子ども達の未来のために役立てていただけるよう、寄付を行っています。



何らかの事情で、私の手を離れることになっても、多くの人の手を経てせっかく服として生まれたのだから、切り刻んだり、燃やしたりして新たな資源として生まれ変わるの、最後の最後にとっておきませんか？
そして、まだ洋服としての魅力や価値があるならば必要とする誰かの手に届け、できるかぎり長生きさせたい。



「私の手から 次の手へ もう一度 輝く 私の服」

ワールドは、まだ魅力のある衣料品の価値を最後まで無駄なく活かすことを目的に、2011年のショッピングセンターで開催した「エコロモ キャンペーン」より、リユース（衣料品の再利用）に取り組んでいます。



「エコロモ キャンペーン」にご協力いただいている
リサイクルパートナー

株式会社WELL、株式会社國光、日本ファイバー株式会社、株式会社買取王国
株式会社Kurokawa、キムラセンイ株式会社、株式会社east、共栄繊維株式会社
株式会社イー・エフ・オー、株式会社ABJ、株式会社ミーツ・クロージング

引き取り実績の報告



2011年秋冬のキャンペーンより、東日本大震災で被災された子ども達の支援など、累計で111,675,319円の寄付を行っています。

※数字は24年2月末時点のもの

年度	引き取り点数	寄付額	リサイクル手法
2023年度	1,218,971	3,457,908	リユース
2022年度	1,022,170	3,286,584	リユース
2021年度	1,101,093	3,038,801	リユース
2020年度	1,016,831	2,865,772	リユース
2019年度	1,978,620	8,159,552	リユース
2018年度	2,283,838	13,270,984	リユース
2017年度	2,287,486	11,699,224	リユース
2016年度	2,080,077	16,648,218	リユース
2015年度	1,422,965	13,803,830	リユース
2014年度	1,587,965	12,927,932	リユース
2013年度	1,151,122	14,629,294	リユース
2012年度	631,139	6,770,571	リユース
2011年度	297,801	1,116,649	RPF化(産業用固形燃料)
			リユース
2010年度	369,379	0	RPF化(産業用固形燃料)
2009年度	165,551	0	バイオエタノール化
合計	18,615,008 枚	111,675,319 円	-

※ 11年度春夏シーズンは東日本大震災発生のため、「ショッピングセンター」では未実施

お引き取りさせていただいた衣料品の収益金は、
支援を必要とする子ども達の未来のために役立てられています。

福島県 東日本大震災ふくしま子ども寄附金
…累計36,515,046円

東日本大震災の被災・避難等により不便を強いられている子どもへの支援、子どもたちの将来につながる取組み、子どもたち及び保護者が元気になる取組み、子どもたちのふるさと福島への愛着心を醸成する取組み、子どもたちの福島県復興への参画に役立てている。



2019年11月21日(木)
福島県子ども未来局長 佐々木 秀三様 (写真中央)に目録を贈呈するワールドストアパートナーズ社員

宮城県 東日本大震災みやぎ子ども育英募金
…累計34,977,116円

「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」の寄附金を基金として積立て、被災した子どもたちの安定した生活と希望する進路選択の実現を支援するための奨学金・支援金として活用している。



2019年11月19日(火)
宮城県保健福祉部次長 武内 浩行様(写真中央)に目録を贈呈するワールドストアパートナーズ社員

あしなが育英会
…累計10,257,565円
(2015年秋冬キャンペーンから)

病気や災害など様々な理由で親を亡くした子どもたちを、奨学金、教育支援、心のケアで支える民間非営利団体。



2019年11月11日(月)
あしなが会 管理部次長 兼 寄付課長 東田 健一様(中央左)に目録を贈呈するワールドストアパートナーズ社員

チャイルド・ケモ・サポート基金
…累計10,257,564円
(2015年秋冬キャンペーンから)

チャイルド・ケモ・サポート基金は、日本初の小児ガン専門施設として、2013年、神戸ポートアイランドにオープンしたチャイルド・ケモ・ハウスの施設建設・運営、助成などを通して支援活動を行っている。



2019年11月15日(金)
チャイルド・ケモ・サポート基金事務局 本庄 瑠美様(右)に目録を贈呈するワールドストアパートナーズ社員

※上記に加え、日本赤十字社に累計 1,695,591円を寄付しております。なお、コロナ禍により、現在、対面での目録贈呈は休止しております。

※2014年度は、「平成26年8月豪雨」(広島土砂災害)に57万468円、2016年度は、「平成28年熊本地震災害義援金」に、計464万8,218円、2017年度は、「平成29年7月5日からの大雨災害義援金」(九州北部地方大雨災害)に100万円、2018年度は、西日本豪雨で大きな被害を受けた広島県、岡山県、愛媛県にそれぞれ200万円、北海道胆振東部地震で被害を受けた北海道に100万円をそれぞれ寄付しています。

※2022年秋冬より日本ユニセフに393,930円の寄付をしています。

※2024年、令和6年能登半島地震に2,359,821円の寄付をしています。